

サイバー・キャンパス・コンソーシアム
平成21年度第3回統計学委員会 議事概要

I. 日 時 平成21年9月24日(木) 14:00～16:00
場 所 社団法人私立大学情報教育協会事務局

II. 出席者 高橋、中西、今泉(座長担当)、渡辺委員 (事務局 井端、森下、平田)

III. 検討事項

今回は主に、統計学の学士力の具体化を行った。詳細は以下の通り。

1. 学士力の具体化

昨年度の学士力(中間報告)の到達目標を見直しながら、中西委員、今泉委員作成によるコアカリ項目や能力レベル一覧、CCC教育学委員会の学士力等を参考に、中間報告にコアカリイメージ、到達度を加えて、統計学の学士力具体化を進めていった。今回は(1)と(2)までまとめた。

1) 到達目標の変更

中間報告の到達目標を以下のように変更した。

「(1) 社会における統計データの重要性を理解でき、それから導かれた結果を客観的に評価できる。」

「導かれた結果を客観的に評価できる」については、以降の(2)(3)(4)を学んでから得られる能力であるため、(1)から削除し、「(1) 社会における統計データの役割と重要性を理解できる。」のみに変更した。

(2) データを統計的に整理し、表やグラフを用いてデータの特徴を説明できる。

わかりやすくするため、後半の「表やグラフを用いて」と「データの特徴を」の並びを逆にし、「(2) データを統計的に整理し、データの特徴を表やグラフを用いて説明できる。」とした。

2) コアカリイメージと到達度の追加

コアカリイメージについては、科目名を入れるのかどうか委員から質問があったが、各大学の方針や各教員、授業を取り巻く環境が異なるため、当協会ですとまとめる学士力では敢えて具体化せず、必要な教育内容に留める旨、事務局より説明した。

(1) 社会における統計データの役割と重要性を理解できる。

＜コアカリのイメージ＞

統計、データの種類、観察・実験・調査、仮説、実証分析

＜到達度＞

社会における統計の役割と重要性について、以下の段階で論理的に説明することができる。

- ① 統計とその背景のデータについて、例をあげて説明できる。
- ② 統計の信頼性、信憑性について説明できる。
- ③ データの収集方として、観察・実験・調査の違いを説明できる。

④ 科学的問題解決の枠組み理解し、実証分析の有用性を説明できる。

(2) データを統計的に整理し、データの特徴を表やグラフを用いて説明できる。

＜コアカリのイメージ＞

分布、度数分布表、基本統計、統計グラフ

＜到達度＞

- ① 基本的な統計グラフの種類を知り、データの特徴に応じた使い分けができる。
- ② データの分布や傾向を表やグラフで作成できる。
- ③ 基本統計（量）の種類と意味を知り、求めることができる。
- ④ 表やグラフや基本統計（量）の値を用いて、データの特徴を説明できる。
- ⑤ 時間情報の入った値

3. 次回までの課題

今回は、(1) と (2) の到達目標の見直しとコアカリイメージおよび到達度の追加を行ったので、次回委員会までに (1) と (2) への測定方法の追加、(3) ～ (5) のコアカリイメージ、到達度、測定方法の追加を4名の委員で分担して行うこととした。

4. 次回委員会

今回は、10月21日（水）17:30 より行い、到達目標の見直しと、各目標に対するコアカリイメージ、到達度、測定方法を作成し、学士力の具体化案を完成させる。